

Kami Town Council News No.73

かみ議会 だより

令和5年3月定例会



小 代 小 学 校 新 一 年 生

今月のトピック

令和5年度予算決まる P2～
副町長ほか人事同意案件 P8～

香美町議会の情報はこちら



まちの 使うお金 が決まる!

一般会計、特別会計、企業会計の総額

約259億円

一般会計予算総額は147億8400万円、特別会計の予算総額は53億4886万5千円、企業会計の予算総額は57億3427万9千円で、いずれも昨年より多い金額です。※ 質疑などの詳細はP3～P6に掲載しています。

まちの総合計画の区分による予算配分 (単位:千円)

事業の名称	令和5年度	令和4年度	増減	比率
1. ふるさを担う子どもを育むまち ・学校給食費無償化、オムツ券交付事業 など	1,380,408	1,498,685	▲118,277	-7.89%
2. 若者がいきいきと働くまち ・起業創業支援、就農支援 など	984,767	888,395	96,372	10.85%
3. みんなが安心して暮らせる健康長寿のまち ・物価高騰対策応援券配布事業 など	2,659,210	2,499,295	159,915	6.40%
4. みんなで創る魅力あるまち ・除雪費、町民バス運行費 など	3,357,931	2,901,058	456,873	15.75%
5. 地域の豊かな資源を生かすまち ・海岸美化対策事業費 など	190,678	206,605	▲15,927	-7.71%
6. 協働によるまちづくりの推進 ・地域おこし協力隊活動事業費 など	109,019	87,553	21,466	24.52%
7. 経営的視点にたった行財政運営の推進 ・ふるさとづくり基金費 など	3,320,305	2,921,909	398,396	13.63%
合計	12,002,318	11,003,500	998,818	9.08%

※一般会計の総額と一致するものではありません

特別会計 (単位:千円)

事業の名称	令和5年度	令和4年度	増減	比率
国民健康保険事業特別会計	2,376,930	2,357,100	19,830	0.84%
後期高齢者医療保険事業特別会計	344,611	344,672	▲61	-0.02%
介護保険事業特別会計 ・認知症総合支援事業等	2,624,016	2,568,431	55,585	2.16%
財産区特別会計(長井財産区)	2,589	2,655	▲66	-2.49%
町立地方卸売市場事業特別会計 ・東港維持管理費用	719	697	22	3.16%
合計	5,348,865	5,273,555	75,310	1.43%

企業会計 (単位:千円)

事業の名称	令和5年度	令和4年度	増減	比率
公立香住病院事業企業会計	2,087,604	1,906,745	180,859	9.49%
水道事業企業会計	1,137,768	1,006,760	131,008	13.01%
下水道事業企業会計	2,483,267	2,777,215	▲293,947	-10.58%
【新】国民宿舎事業企業会計 ・旧ファミリーイン今子浦	25,639	—	—	皆増
合計	5,734,279	5,690,720	43,559	0.77%

算査 予審

議長を除く15名の議員で構成された予算特別委員会(委員長 小谷康仁)に付託された令和5年度当初予算は3月6日から実質6日間の日程で審査しました。主な質疑は次のとおりです。

総務課

問 令和5年度の会計年度任用職員の数と令和4年度の退職者数と5年度の採用者数は。

答 令和5年度採用予定の会計年度任用職員は245人で、4年度退職者数(正規職員)は行政職6人、幼稚園教諭1人の合計7人で、5年度採用の正規職員数は、行政職4人(新卒3人、社会人1人)、土木職1人の合計5人です。

問 物品売払い収入について、不用品についてはネットワークソリューション等を活用して積極的に売却うか。

答 不用品については積極的に売却し、車両更新等については損傷が著しいものでない限りはネットオークションによって売却します。

財政課

問 寄付金は10億724万9千円で、昨年7億654万円より42.6%の増を見込んでいるが、その根拠は。

答 ふるさとづくり寄附金について、令和4年度当初予算の7億円から令和5年度当初予算では10億円。3億円増を見込んでいます。なお、令和4年度補正後の寄付金の予算額は9億2千万円となっています。

問 各大学との連携内容と本年度事業は。

答 県立芸術文化観光専門職大学との連携については、町内の県立高校2校において、演劇的手法を用いた自己表現能力を高める「高校コミュニケーション

教育課

問 教育業務を委託し、姫路大学との連携は但馬牛の振興目的に小代区内の畜産農家に牛を預託し肉の栄養分析や食味等の研究・調査を進めていくこととしています。

問 地域防災拠点の整備予定地は決まっているのか。

答 整備予定地は、土砂災害、浸水、津波、高潮などの災害想定区域に指定されておらず、本庁舎からの距離などの諸条件を踏まえ、第一候補地は香住区山手地内としています。

問 徴税の令和5年度賦課徴収方針は。

答 町税収入は町財政を支える根幹で、税負担の公平性の確保と適正な課税を心掛けます。徴収方針の基本的考え方は「納税交渉中心による徴収」から「納税交渉に応じない滞納者及び納税意識の低い滞納者に対する積極的な滞納処分の実施」に変更した方針で取り組めます。

防災安全課

税務課

問 徴税の令和5年度賦課徴収方針は。

答 町税収入は町財政を支える根幹で、税負担の公平性の確保と適正な課税を心掛けます。徴収方針の基本的考え方は「納税交渉中心による徴収」から「納税交渉に応じない滞納者及び納税意識の低い滞納者に対する積極的な滞納処分の実施」に変更した方針で取り組めます。

問 美方郡広域事務組合負担金増額の要因は。

答 主な要因は広域美方苑の改修工事に係る費用が前年度に比較して増加していることです。

問 マイナンバーカード発行・申請状況は。

答 総務省公表データで、令和5年2月末で取得率78.2%です。申請率は89.5%です。全国取得率が63.5%、申請率が81.7%となっており、いずれも本町は高い状況です。

町民課

問 産後ケア事業で新たに通所型を実施とあるが、詳細は。

答 産後の心身に不調のある方、育児不安のある方、家族等から家事育児の援助を受けられない方等を対象に、医療機関で日中を過ごし、心身のケアや授乳指導、育児相談等が受けられる日帰りの事業です。実施医療機関は公立八鹿病院です。

の養育者とし、乳児一人当たり2万円分のオムツ券を交付します。

健康課

問 かみっこオムツ券交付事業の詳細は。

答 乳児前半の子育て相談支援をより充実させることを目的とし、併せて乳児を育てる家庭の経済的支援も行うものです。交付対象者は生後6ヶ月未満

問 診療施設協定の診療収入について、前年度の実績見込みとあるが、超過死亡も考慮したものが。

答 過去の実績に基づく推移と患者数の動向等を勘案した上で、見込み額を算定しています。超過死亡を考慮しているものではありません。

問 診療施設協定の診療収入について、前年度の実績見込みとあるが、超過死亡も考慮したものが。

答 過去の実績に基づく推移と患者数の動向等を勘案した上で、見込み額を算定しています。超過死亡を考慮しているものではありません。



〔後期高齢者医療特別会計〕

問 令和4年10月より負担割合が変わったが、制度改正後の影響は。

答 75歳以上の方で一定以上の所得がある方は、医療費の窓口負担が1割から2割へと変更になりました。令和7年9月30日までの3年間は、一月分の負担増額が最大でも3千円までに抑えられるようになっています。制度改正による影響は抑制されているものと考えます。

福祉課

〔一般会計〕

問 児童手当の所得制限限度額は夫婦合算か。

答 児童を養育している保護者のうち、生計中心者の所得額で判定しており、夫婦合算ではありません。

〔介護保険事業特別会計〕

問 認知症対策の効果は。

答 取り組んでいる対策の一つとして「認知症

初期集中支援チーム」において、医師を始め理学療法士、薬剤師、保健師、介護支援専門員など専門的人材によるチームにより、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、家族支援など初期の支援を包括的、集中的に行っています。

令和4年度は、21名の対象者を検討し、医療受診や介護保険サービスにつないでいます。初期に医療につないだことで、認知機能が改善された事例もありました。

農林水産課

問 林業振興費 里山防災林整備事業委託料495万円の説明を。

答 この事業は県が行う里山防災林整備事業の採択要件(対象面積5ヘクタール以上)を満たさない小規模集落(20戸未満、1〜15ヘクタール)において森林整備を行うもので、森林環境譲与税を財源としています。令和5年度は2地区の調査業務を

発注する予定です。なお、本事業では令和3年度から開始し、2地区の整備を完了しています。

問 地域特産物販路拡大事業費146万5千円 対前年減額理由は。

答 おいしいお米コンテストの開催規模を令和3年度並みに縮小し開催することとしているためです。

観光商工課

問 かすみふるさと祭り運営補助金1200万円の増額内容の説明を。

答 令和4年度は、当日の波が高く台船が出航できないことから急遽中止することになりました。令和5年度は企画委員会での検討中ではありますが、規模を充実させ、より多くの人の来客を期待し、盛大に開催したいと考えています。なお、昨年の反省を踏まえ、天候等不良の場合は順延することも検討しています。

建設課

問 除草燃料代1回5千円は新規か。PR方法は区長会か。

答 令和5年度新たに、「香美町ふれあい道路愛護活動支援金」として除草作業に係る燃料代等を1回につき5千円以内、同一年度2回まで交付するものです。PR等につきましては、各自治会等を対象とすることから、区長文書、区長会等でお知らせします。

上下水道課

問 インボイス制度の影響はあるのか。

答 料金システムの改修

は令和4年度で実施しており、水道料金等の請求については、「ご使用水量等のお知らせ」、「納付通知書」を適格請求書(インボイス)として、令和5年10月から交付することとしています。

教育総務課

問 学校給食運営事業費完全無償化の理由は。

答 国や他市町に先駆けて給食費の完全無償化を行う事が、本町の子育て世代の負担軽減だけでなく、子育てに優しいまちとしてのイメージを高めることが出来るかと判断したからです。

こども教育課

問 部活動地域移行推進事業の内容は。

答 部活動地域移行に係る協議会(仮称)を設置し、部活動の地域移行を推進するための協議を行います。内容は、実態調査、移行への課題整理、課題対応案の

作成、移行する部活動の選定など、年3回を予定しています。

生涯学習課

問 但馬国際音楽祭の詳細説明を。

答 世界レベルの演奏に触れる機会が少ない但馬エリアで、質の高い音楽を鑑賞するイベントを計画しています。事務局は但馬県民局で、芸術文化観光専門職大学、但馬5市町で準備会議を開催しており、令和5年に実行委員会の設置、令和6年以降に音楽祭を開催予定です。

香住病院

問 今後の課題について。

答 喫緊の課題は看護師確保です。定年後も引き続き、再任用職員、会計年度任用職員として勤務をお願いする中で各部署の体制は保たれています。年齢も増す中で、勤務日数も減少となり、極めて厳しい状況にあります。

総括質疑

(一般会計)

問 学校統廃合で加速する周辺地域の過疎化にどう対応するか。

町長 「新しい地域コミュニティによる地域づくりを進めていくことで、それぞれの地域にある自然、歴史、文化、産業、景観などを地域の資源ととらえ、地域コミュニティ活動の維持、強化を図ります。

問 経営的視点に立った財政運営、将来にわたる持続可能な財政運営という部分が各課に浸透しているか。

町長 予算編成に携わる職員を対象に予算編成に係る事務説明会を開催したうえで、各課からの予算要求に対し、財政課ヒアリング、新規・拡充事業については私も含めた政策ヒアリングを行っています。

問 タクシー運行継続支援事業補助金と町民

バスへの補助金を合わせると町独自の公共交通が実現できるがその考えは。

町長 市町域を超える町民バス等の運行は難しいですが、香住区内に限ると今以上に自由度の高い公共交通体系の構築は可能であると考えています。

問 結婚対策は待ったなしの喫緊の課題と思われるが、今後の早急な対応を。

町長 結婚対策は、本町における重要な課題であると認識していますので、令和5年度の予算編成に当たり、担当課に対して結婚対策を見直すよう指示をしました。

問 自動車・バス通学にかかる補助基準の距離に違いがある。合併後、18年以上が経過していても統一した基準を定められないのは何故か。

教育長 合併前の基準

を引き継いでいるため、距離に違いがありますが、地形や気候の違いが理由となっているもので、平坦路か坂道、積雪の違いから単に距離だけで定めるものではないと考えています。

問 学校再編計画検討の中で、教育長として大切にしたい課題は。

教育長 「子どものことを第一に考えてほしい。」という意見です。小規模校の児童をいかに大人数の学校にソフトランディングさせるか、体力的・精神的負担をいかに軽減するかなどを常に頭に置きながら検討を進めています。

問 小代小・中も統廃合の相談体制をつくるべきでは。

教育長 令和5年度、それぞれの学校に設置するコミュニティスクール(学校運営協議会)が、その役割を担うこととなりますので、

特別な相談体制をつくることは考えていません。

(国保事業特別会計)

問 前年比3%増を見込んでいるが、物価高騰の負担増に追い打ちをかける増税ではなく、減税すべきではないか。

町長 国保の被保険者に限らず、全ての町民が影響を受けていることであり、物価高騰対策として様々な施策や事業を行ってきており、国保税の減税とは分けて考えています。

(国民宿舎事業企業会計)
問 指定管理者の公募時の条件は指定管理者納付金480万円であり、当初計画は減額せず、480万円とすべきではないか。

町長 指定管理者である「さかえ開発株式会社」から経営状況をお聞きする中、コロナ禍という不可抗力による経営への影響が続いて

いると判断し、納付金を減額しようと考えました。

問 業務予定量が否決された予算案の数量のままとなっているが、修正しなくていいのか。

町長 このままでいきます。

問 変更点である一時借入の限度額について説明がなされていないが。

町長 指定管理料を募集要項にある下限480万円に戻したことで、支払いが出来なくなるケースも想定されることから、そういったことに対処できるよう、500万円へ上方修正しました。





■一般会計

反対討論 谷口眞治議員

1 コロナ禍で傷ついた地域経済に深刻な物価高騰が襲っているが、物価高騰からくらしを守る予算が不十分である。

2 学校給食費完全無償化の恒久化は、こども医療費の無償化とともに子育て支援の2つの柱ができたのは大きな前進であり、引き続き、所得制限を廃止し、こども医療費の完全無償化や国保のこども均等割減免の対象拡大などさらなる拡充を求めらる。

3 廃校の活用は地域振興の大きな課題である。住民参加による利活方策を行政主導で進める必要がある。

4 行政のデジタル化は、住民の多様なニーズに

応えるためアナログもデジタルも住民の選択肢を増やすことで、現行の健康保険証を廃止しマイナンバーカードの健康保険証利用には賛成できない。

5 これまで指摘してきた課題を解決するための予算がない。

賛成討論 南垣 誠議員

タクシー運行継続支援事業補助金について、介護タクシーへの補助が含まれておらず、一括での当初予算化は、事業者の経営改善、コロナからの脱却を期待しない予算編成で、非常に残念であります。

しかし、アフターコロナを見据え、子育て支援、健康介護、産業振興等に合併後最大の予算規模で新事業をはじめ、町民の暮らしに寄り添ったものになっていきます。

中でも、就学前、小中学校の給食費完全無償化は、長年にわたり先輩、同僚議員が訴え続け、退けられていた経緯

がありましたが、子育て世帯への経済的支援に最も有効な施策を英断いただいた予算編成であります。

税引き上げは被保険者の生活費の負担増に追い打ちをかけることとなる。基金を活用し引き上げを避けるべき。

■後期高齢者医療保険事業特別会計

診療内容が充実しています。

費の窓口負担割合が1割から2割へと変更されました。窓口負担割合が2割となる人は、令和4年10月から令和7年9月30日までの3年間は、引き上げに伴う10月分の負担増加額を3千円までに抑える措置が講じられ、急激な負担増を抑え、受診控え等を招かないよう配慮されています。この措置により、制度改正による影響は抑制されています。

後期高齢者の医療費のうち、窓口負担金を除いて約4割は現役世代の負担となっていて、今後も増大していく見込みとなっております。現役世代の負担を抑え、国民皆保険を未来につないでいくために必要だと判断します。

■国民宿舎事業企業会計

反対討論 東垣 典雄議員

指定管理者が町に納める納付金300万円と計上されているが指定管理者を公募した条件は下限額480万円であり、公募条件の金額で計上すべきもので当初予算での減額は認められない。

■国民健康保険事業特別会計

反対討論 森浦 繁議員

平成30年度から県が財政運営する「県一本化」がすすめられ、「所得が少ない・医療費が安い香美町」と「所得が多い・医療費が高い市町」との平準化を図り、県が国民健康保険事業納付金を示し、国保税の引き上げがすすめられている。国保税は正式に6月定例会で決定されるが、深刻な物価高騰のなかでの国保

医療分につきましては、被保険者の負担を軽減するため医療費給付費分に、基金より800万円を繰り入れ、前年度と同水準を維持しています。病気を早期発見する健診増進事業では、オプションで有りますが、他の自治体に無い腫瘍マーカーなどの項目を取り入れるなど特定健康

反対討論 谷口眞治議員

後期高齢者の命の綱である令和5年の年金支給額はわずかな引き上げに留まり、物価上昇分をカバーできない年金支給額となっている。そのうえ、昨年10月から始まった医療費の窓口負担倍化は後期高齢者の大きな負担となつていきます。2008年度から始まった75歳で医療を別にする後期高齢者医療制度こそ問題で、もとは75歳以上の高齢者は老人保護措置法で全員無料でした。

賛成討論 小谷 康仁議員

近年の急速な少子高齢化及び医療費の高度化に伴い、被保険者数や医療費給付費は年々増加しています。団塊の世代が75歳以上の高齢者になり始める中で、現役並みの所得者を除き、75歳以上の方などで一定の所得が有る方は、医療

正算 補予

令和4年度一般会計補正予算(第7号・専決処分)と(第8号)が提案され原案どおり可決しました。

■森林環境経営間事業費
問 事業費減額理由は。
答 里山防災林整備事業委託料減額は、5地区の要望に対して、事前調査に時間を要し実施に至らなかった予定地区分を減額しました。沿道森林美化整備事業委託費減額は、事業予定区域内の土地所有者の確定ができず、事業実施に至りませんでした。いずれも令和5年度に実施予定です。

で、情報量も増えていくので、今後は利用者も増やしていきます。

■国民健康保険事業特別会計
問 小代診療施設医薬材料費の減額は医科、歯科も含んだ減額なのか。
答 医科の医薬材料費減額で歯科は含みません。

■自治振興事業費補助金
問 A-1チャットボット導入事業の詳細は。
答 2月より香美町ホームページ上で運用している。その目的は、住民サービス向上のため、ピンポイントの単語で、ホームページの情報を検索できるシステムです。現在は2500項目程度の情報登録だが、利用が増える事

■公立香住病院事業企業会計
問 通所リハビリテーション再開の目処は。
答 コロナ対応や東館建設工事に伴い場所の確保が難しい状況です。更に看護師、介護員の人員確保も厳しい状況ですが、再開に向けて引き続き検討します。

問 修学資金貸与増額の理由は。
答 当初予定は4人でしたが、看護師1人が増え、合計5人となったための増額です。

画更 計変

辺地総合整備計画変更

○香住区相谷 下水道処理施設(相谷浄化センター整備事業)

下水処理施設において機械設備のばっ気ブロワの耐用年数が経過したため更新するもの。

○村岡区相岡 飲用水供給施設(旧相岡簡易水道整備事業)

地域住民への安全かつ安定した水道水の供給を図るため老朽化した導水管等の更新をするもの。

○小代区佐坊 (町道鍛冶屋向平線)

緊急時及び災害時の安全な通行を確保するため、町道鍛冶屋向平線から町道東垣佐坊線への合流部分の道路改良をするもの。

辺地対策事業債とは

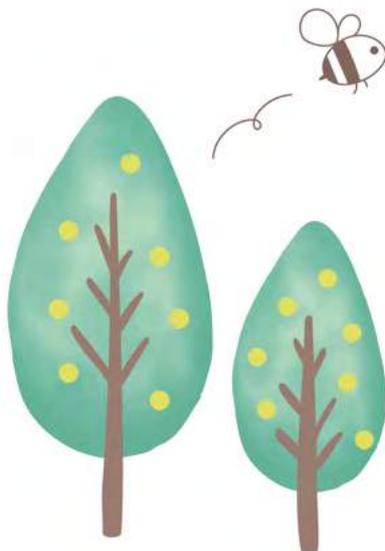
辺地に指定された地域に充当可能である有利な事業債。
・充当率は原則100%
・元利償還金の80%は基準財政需要額に算入される財政上の優遇措置がある。

過疎地域持続的発展計画の変更

令和5年度に計画する事業において、有利な財政措置のある過疎債を適用するため過疎地域持続的発展計画に事業を追加する変更。

○追加される事業

- ・小代堆肥センター整備事業車両更新
- ・余部鉄橋空の駅整備事業エレベーターワイヤ交換
- ・味取俵石周辺地域整備事業
- ・通行止め解消う回路設計
- ・国民健康保険診療所整備事業(小代)
- ・受電施設整備
- ・スクールバス購入事業
- ・香住区のスクールバス更新
- ・福岡体育館整備事業
- ・トイレの洋式化
- ・小代健康公園整備事業
- ・公園落石防止設置
- ・移動図書館車整備事業
- ・車両更新



産渡 財譲

議案第50号財産無償譲渡について

1 無償譲渡する財産

- 三田浜園地(香住区下浜字栃三田1585番他1筆)

2 無償譲渡する相手

- 下浜一般財団法人(香住区下浜1134番地) 財産詳細
- トイレ1棟 34.22㎡
- 水道ポンプ施設小屋1棟 駐車場1938㎡
- 石積み一式
- 石積みステージー式 柵 10.5m
- 柵 9.0m
- テーブルベンチセット
- ベンチ1脚

質疑

問 当該土地には栃三田遺跡が埋蔵されているが、しっかりと話し合いはできているか。
答 担当者レベルで話し合いは行っています。

香美町副町長

副町長に任命することに同意しました。
◆任期は令和5年4月1日から4年間です。



村岡区板仕野

あなだ やすなり
穴田 康成さん【新任】

教育委員会委員

教育委員会委員として任命することに同意しました。

◆任期は令和5年5月31日から4年間です。



香住区香住

ただ よしえ
多田 好江さん【再任】

人権擁護委員

人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。

◆任期は令和5年7月1日から3年間です。



香住区訓谷

ふくい しずこ
福井 静子さん【新任】

固定資産評価審査委員会委員

次の方々を固定資産評価審査委員会委員として任命することに同意しました。

◆任期は令和5年5月30日から3年間です。



香住区浦上

しばた しょうじ
柴田 章二さん【再任】



村岡区大糠

たけお ひさし
竹尾 尚さん【再任】



小代区佐坊

なかむら おさむ
中村 修さん【新任】

農業委員会委員

次の方々を農業委員会委員として任命することに同意しました。

◆任期は令和5年4月21日から3年間です。



香住区下浜
よしかわ まさひと
吉川 正人さん【再任】



香住区森
まえだ せいいち
前田 精一さん【再任】



村岡区板仕野
おかだ ひさし
岡田 久志さん【再任】



村岡区高井
ぶんどう ふくいち
文堂 福一さん【再任】



小代区水間
なかむら あきお
中村 彰男さん【再任】



小代区鍛冶屋
いのうえ たけお
井上 竹雄さん【新任】



村岡区口大谷
やまもと かおる
山本 薫さん【再任】



香住区余部
はしもと こうちょう
橋本 幸長さん【再任】



香住区丹生地
きたむら ひろあき
北村 宏明さん【新任】



香住区隼人
よねだ かずひろ
米田 和弘さん【再任】



香住区中野
こたに なおみ
小谷 直美さん【新任】



村岡区長板
ふるかわ こうじ
古川 功兒さん【再任】



村岡区福岡
しらいわ やすし
白岩 寧さん【新任】



村岡区境
たなか かずま
田中 一馬さん【再任】

例正 条改

3月定例会において改正
8議案が提案され、すべて
原案通り可決しました。

質疑

■香美町個人情報保護の保護
に関する法律施行条例を
定めることについて。

本人の同意を得ずに第
3者提供、目的外利用
が可能になる。

問 個人情報保護について
現行条例と新しい全国
共通ルールとの違いは。

■香美町国民健康保険
条例の一部を改正する
条例を定めること。

答 本人から直接取得
しなければならぬ個人
情報の取得の制限に
ついて、現行条例では定
められていましたが、新
しい全国共通ルールで
はその規定がなくなり
ました。

出生育児一時金
被保険者が、出産した
ときは、該当被保険者
の属する世帯主に対
し、出生育児一時金と
して支給する。

■香美町国民健康保険
条例の一部を改正する
条例を定めること。

「40万8千円」を「48万
8千円」に改め、同項た
だし書中「42万円」を
「50万円」に改める。

反対討論

谷口眞治議員
現行の「香美町個人
情報保護条例」を廃止
して、全国一律の共通
ルールとして定められ
る法律施行条例の「リ
セット」の最大の目的
は、自治体を持つ膨大
な個人情報データの「デ
ータ活用」を成長戦
略に位置付け「デジタ
ル改革」の名ですすめ、

■発議第1号 香美町
議会個人情報保護条例
を定めることについて

全員賛成にて可決

■発議第1号 香美町
議会個人情報保護条例
を定めることについて

全員賛成にて可決

■森林環境譲与税の譲
与基準の見直しを求め
る意見書(案)

賛成少数で否決

■請願第1号 「最低
賃金の改善と中小企業
支援の拡充を求める意
見書」の採択を求める
請願書

意見書

議案の審議結果 ※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案 番号	議案名	田 野 公 大	上 田 勝 幸	谷 口 眞 治	藤 井 昌 彦	吉 川 康 治	東 垣 典 雄	西 谷 高 弘	小 谷 康 仁	南 垣 誠	松 岡 大 悟	見 塚 修	西 川 誠 一	岸 本 正 人	徳 田 喜 代 子	森 浦 繁	西 谷 尚
12	令和5年度香美町一般会計予算			×				欠							欠	×	—
13	令和5年度香美町国民健康保険事業 特別会計予算			×				欠							欠	×	—
14	令和5年度香美町後期高齢者医療保険事業 特別会計予算			×				欠							欠	×	—
42	香美町個人情報の保護に関する法律施行条例を 定めることについて			×				欠							欠	×	—
16	令和5年度香美町財産区特別会計予算							欠						×	欠		—
19	令和5年度香美町水道事業企業会計予算			×				欠							欠	×	—
20	令和5年度香美町下水道事業企業会計予算			×				欠							欠	×	—
21	令和5年度香美町国民宿舎事業企業会計予算	×		×	×	×	×	欠	×	×			×	×	欠	×	—
51	香美町副町長の選任につき同意を求めることについて	無記名投票 反対1						欠							欠		—
53	令和5年度香美町一般会計補正予算(第1号)							欠					×		欠		—
請願1	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める 意見書」の採択を求める請願書	×			×	×		欠	×		×	×	×	×	欠		—

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長及び議長代理は採決に加わりませんので、「—」で表示しています。

町政を問う

3月定例会での一般質問は、3月15日と16日に12人の議員が町政全般について質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

※QRコードでそれぞれのようにすが視聴できます



降雪時の持ち帰りはもっと大変!!



宝島社「田舎暮らしの本」2月号、「2023年版住みたい田舎ベストランキング」で総合4位に

厚生労働大臣は、使用済みおむつを所(園)から持ち帰りをなくするのは保護者の大きな



見塚 修議員

使用済みおむつを保育所(園)で処分を!! 保護者と対応を協議し、検討します

負担軽減。所(園)での仕分け業務がなくなる。またおむつを介しての腸管出血性大腸菌O・157やノロウイルスなどの感染可能性も指摘している。また新たに必要となる専用ゴミ箱購入に補助するとし、所(園)で処分することを推奨す

る方針を示した。所(園)で処分する考えとその費用はいくらか。

教育長 厚生労働大臣がこの方針を示した理由は、多くの自治体で使用済みおむつを保育所等で処分する方針を示していることや、質問のとおり理由によるものです。

おむつ処分の課題は、子供の体調把握、保管スペース、衛生面の管理、処分費用の財源確保などがあります。

第一義的には保護者と対応を協議し検討します。

町内の5保育所等での費用は約200万円です。



宝島社が発行する月刊誌「田舎暮らしの本」で住みたい田舎ベストランキングが発表され人口1万人〜2万人の自治体で総合4位となり、移住支援施策と実績が評価されたものと伺う。



東垣 典雄議員

移住支援が評価され全国第4位に 実績が評価されさらに取組を充実

町長 ①移住支援サイトでは「暮らしを聞く」「暮らしを綴る」「働く」「住む」「育てる」などのコンテンツを備え、さらにインタビュー動画を追加しよりわかりやすくします。

②移住定住支援ウェブサイトの充実をどう図るか。

③空き家バンク登録件数をどう増やすか。

①利用者数は毎年約670人で気兼ねなく訪問することができるよう施設と好評で、令和5年度は移住スカウトサービスの記事掲載数を増やします。

②空き家の納税通知書を送付するとき空き家バンクを紹介しています。

令和5年度は空き家利活用促進支援補助金を拡充します。





子どもたちが集う宝樹保育園



子育て罰とならないために

少子化が進む昨今、国や各自治体では子育て支援に力を入れる施策を始めている。本町



小谷 康仁議員

保育料の見直しが必要では？
さらなる軽減措置は考えていません



でも3歳から小学校入学までの子どもの保育料が無料で子育てし易い体制が整っている。しかし、3号認定となる0歳から3歳までの保育料は所得割課税額により保育料に差があり、共働きをする世帯にとっては、大きな負担となっている。

より子育てし易い町にするためには、この保育料の見直しが必要では？

町長

保育料は、国が定める基準額を限度として保育の実施主体である市町が定めることとされています。

令和元年10月から幼児教育・保育の無償化に伴い、

3歳から5歳までの全ての子どもに係る保育料の無償化が実施されました。国の多子軽減制度が適用され、第2子は半額、第3子以降は無料となっています。低所得世帯や多子世帯への軽減措置を実施してきていることから、現在のところ、さらなる軽減措置は考えていません。

子どもの人数が増えるほど経済的に家計を圧迫していき、何とかしようと一生懸命働く、児童手当や高校無償化などの支援から外れてしまう。それが子育て罰だと受け取られ



南垣 誠議員

所得制限撤廃の考えは
必要であれば検討していきます



子どもの人数が増えるほど経済的に家計を圧迫していき、何とかしようと一生懸命働く、児童手当や高校無償化などの支援から外れてしまう。それが子育て罰だと受け取られ

今、国会でも議論になっていますが、政策の中で児童手当の所得制限撤廃の議論が伯仲しています。そういうことに、いち早く敏感に対応していきたいと思っています。国の方向が示されたら、あるいは給食費のように、国がそういうことを示すまでも、町として必要であれば、所得制限の撤廃も検討します。



待たれる早期着工



いざという時の準備

大乗寺バイパスⅡ期工事の進捗は 機会を捉えて陳情に行きます



西川 誠一議員

1998年、平成10年10月29日に大乗寺橋が一部崩壊した。そのことにより大乗寺バイパス

実現の機運が高まった。

この県道は防災面、産業面でも町の基本となる香住と村岡・小代を繋ぐ重要な道であり、県道4号線沿い企業群等からも「大乗寺バイパスⅡ期工事早期着工について」という嘆願書が届けられた。現時点の進捗状況及び

今後の予定を問う。

町長 Ⅰ期工事として平成27年に森区から加鹿野区間が供用開始されていますが、大乗寺バイパスⅡ期区間については、現時点では事業化に至っていません。また、兵庫県の但馬地域社会基盤整備プログラムにも、着手完了時期



が記載されていません。現在まで様々な機会に要望を重ねていますが、今後、地元企業等の地域活性化の取組と連携し、令和5年度には、地元や企業代表とともに直接県に要望活動等を行います。

大停電の教訓は生かされたか

生かされたと認識しています



藤井 昌彦議員

令和2年の大雪で倒木による大停電があり、本年も1月28日から翌日にかけて、同じ要因で停電があった。
①前回の大停電から教訓は生かされたか。
②年次計画的に電線付

近の雑木の間伐、伐採する考えはないか。

③集中した短時間での積雪対応について。
④凍結、断水対応は。

町長 ①停電の状況を逐次、行政無線で流すなど、あらゆる対応で前回の教訓は生かされました。

②まず、森林は土地所有者が管理していただき、電線付近の倒木予防は、関西電力送配電や町事業で主要な国道9号線沿線の伐採

を兎塚地区から行っています。

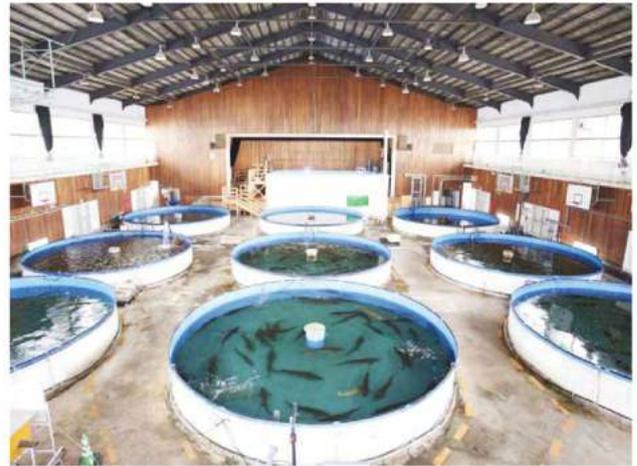
③除雪業者に委託し全力で道路通行を確保していただいています。

④定期的な漏水確認、長期使用しない場合の閉栓、冬場の水道管凍結防止対策等の周知を行います。





戦争準備の大軍拡止めましょう



廃校を利用した養殖の現場(農水省HPより)

岸田首相は、ウクライナ危機に乗じて空前の大軍拡を推進しようとしている。岸田首相は



谷口 眞治議員

戦争の準備でなく、平和の準備を
軍拡予算に懸念をもっています

「専守防衛」を投げ捨て、敵基地攻撃能力の保有と5年間で43兆円に軍事費を増やす大軍拡を、国民にも、国会にも説明せず、閣議決定だけで日本のあり方を大転換させることは許されない。戦争を準備すれば戦争の危険が増える。平和を望むなら、

戦争の準備でなく、平和の準備こそすべきではないか。町長の所見を伺う。

町長

戦争や軍拡は、国の外交と安全保障に関する問題であり、国の政治判断により対応されるものと認識しています。わが町においても香住沖海戦



吉川 康治議員

養殖業の研究が早急に必要では
新たな切り口での取り組みは必要

第2次香美町総合計画後期基本計画には、「住民にとって魅力的で誇りとなる香美町水産業を創出し、活気あふれるまちをつくります。ブランドの確立に加え、魚食普及を進めること

で、よく生み、よく消費するサイクルを構築します。」とある。これを実現するには、そもそも漁獲「量」が必要となる。長期的に漁業に付随する産業を守り、漁獲を増やす手段として、次の4つの理由から養殖業の研究が早急に必要であると考える。

- ①人が船ほど必要がない
 - ②労働が船ほど重労働ではない。
 - ③放棄農地、廃校の利活用が可能。
 - ④環境コントロールが可能。
- この点に課する町長の考えは。

町長

今後の香美町の漁業を継続的に進めるためには、新たな切り口で取り組まなければならない事は実感しております。今後も事あるごとに、漁協や水産事務所や、様々な行政機関も含めて、今後の在り方についてしっかりと取り組んでいきます。



マイナンバーカード見本



マイナポイントとは

マイナポイントとは
マイナポイントとは、マイナンバーカードの申請時に、マイナポイントが自動的に付与されます。マイナポイントは、マイナポイントカードで利用可能なサービスや商品が豊富です。

マイナポータルとは

マイナポータルとは
マイナポータルは、マイナンバーカードと連携して、各種行政サービスや生活支援サービスを利用できるポータルサイトです。



賑やかになりますように

マイナンバーカードで便利な社会へ

本町のマイナンバーカードの取得率は令和5年2月末現在で78.2%と頑張っている。さらな



田野 公大議員

難しいカード申請のサポートは
お一人でも希望があれば出向きます



る普及を目指してどの
ような取り組みをする
のか、そして、難しい
カード申請やポイント
取得手続き等のサポー
ト体制は。

町長 カードの普及
については、休日や時間外
の窓口開設、事業所等への
出張申請サービスなどに

取り組んでいます。令和5
年度は、会計年度任用職員
を1人増員し、マイナン
バー専用窓口の開設、個人
お1人でも取得を希望さ
れる場合は、自宅等に赴い
て申請を受け付けるなど
取り組みこととしており、
外出が困難な高齢の方で
も、より安心して手続きを
していただけるものと考え

ます。
マイナポイントの申請
手続は、役場窓口での申請
のほかに、スマートフォン
やパソコン、郵便局やコン
ビニ設置の端末でも申請
ができますが、マイナン
バーカード交付時にも申
請のお手伝いをさせてい
ただいています。

新型コロナウイルス感染症対策は
国の方針に基づきます

費の負担について。



森浦 繁議員

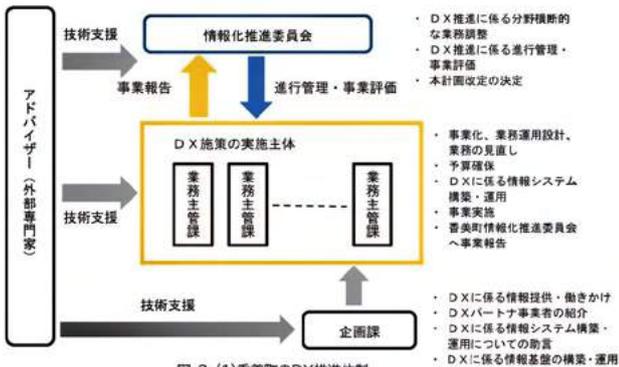
新型コロナウイルス
感染症法上の位置づけ
が、5月8日より、2類
から5類に引き下げら
れます。

①マスクの取り扱いつ
いて。
②感染者の対応及び医療

町長 ①マスクの着
用については、国が示した
方針に基づき、行政が一律
にルールとして求めるの
ではなく、個人の主体的な
選択を尊重し、着用は、個
人の判断に委ねることを
基本にします。
②保健所など自治体は、入
院勧告・就業制限・外出自
粛・健康状態の報告の要請
などが可能であり、一方
で、検査・治療費・ワクチン

接種は、全額公費負担と
なっています。位置づけ
が、5類に見直されれば、
こうした措置は季節性イ
ンフルエンザ並みに変更
されます。また、医療費に
ついては、外来や入院での
検査や治療の公費負担を
やめ、原則として、患者の
自己負担が生じる通常の
保険診療に切り替わると
されています。





香美町のDX推進体制



活躍する観光ガイド

私は平成27年6月よりこの関係で4回質問してきました。3回目の質問では、①基幹系システム



岸本 正人議員

デジタル技術活用計画の実行は？ 3年後の令和8年4月より実行します

ムのの次期更新が令和8年4月を予定しており、システム統一化及び移行の検討を進めます。との回答であった。4回目の質問では、②コストの削減にはつながりません。③住民サービスの低下が想定されます。との回答であった。今回の計画では、そのあたりは

どうなるのか。④本当に実行されるのですか。

町長 ①国の動向を見ながら、令和8年4月より国の標準準拠システムに移行します。②コストの削減は、国の資料では3割程度削減ができると思われる。③本町の課

題である人口減少、少子高齢化社会などに対応するため、デジタル技術の有効な活用を図り、町民生活の利便性の向上、業務の効率化を図ります。④令和8年4月の実行を進めてまいります。



松岡 大悟議員

コロナ後の観光施策を問う 魅力発信やおもてなしに努めます

コロナ禍で人流が抑制され、旅行やイベント開催が困難となり、町内観光産業は大きな打撃を受けた。

①山陰海岸ジオパークガイド養成の成果を出せる準備は出来ているのか。

②町観光大使との連携による集客の見込みは。

町長 ①兵庫デイスティネーションキャンペーンの中で、兵庫テロワール旅体験コンテンツで、本町と関わりがあるものは、「神戸ビーフのルート探求」「但馬牛」「但馬を支える海の暮らしを探访」などにおいて、旅行会社を対象にモニターツアーを実施し、旅行商品化に向けた取組を行っています。全国か

ら兵庫県へ多数の観光客が誘客される中、香美町への誘客方策を検討するとともに、山陰海岸ジオパークガイドの活用も含め、本町の魅力発信やおもてなしに努めます。

②観光大使は現在336人が在籍し、各自活動を行っています。本町から年2回の情報提供と大使の名刺を提供しています。キャンペーン情報を提供するとともに、一層の誘客PRをお願いしたいと考えています。





給食費 無償化

夢や志を抱き、未来を切り拓く
こどもたちのために
給食費が無償になります!!

令和5年4月から、町内在住の小・中学校、幼稚園に通学・通園する子どもたち、また、保育所、認定こども園、民間保育園に通園する3～5歳児の副食費が無償になります。

給食費無償化については、議会における一般質問などでも度々議論されてきました。

子育てで世帯の経済的負担の軽減を図ることにより、子育てしやすい香美町を実感していただくと共に、こどもたちの成長に欠かせない食の安全と、ふるさと給食による食育を推進する取組みです。

制度内容



○ 時期

令和5年4月から

○ 対象

- ・ 町内在住で小・中学校、幼稚園に通学・通園する子どもたちの給食費
- ・ 町内在住で保育所、認定こども園、民間保育園に通園する3～5歳児の副食費

○ 手続き

手続きは原則不要ですが、以下の場合には申請書等の提出が必要です。

- (1) 町外の保育所(園)、認定こども園に通園する3～5歳児
- (2) アレルギーにより昼食を持参している児童生徒、幼稚園児
- (3) 出石特別支援学校みかた校小・中学部に通学しており、町内在住である児童生徒

※ご不明な点は香美町教育委員会にご相談ください。

その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目
見塚 修	コロナ禍を克服し活力あるまちづくりを求めて (Part 8)
	コロナと共存中の活性化策をどう進めるのか伺う (活力・総集編)
	かすみ矢田川温泉と香住高齢者ふれあい交流館の管理運営について伺う (活力編)
南垣 誠	まちの将来像「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」について伺う (Part 7) 「子供の意見も大切に」
	気になる事聞いてみる町長編 「JRの活用方法」「ジオン君について」「新車検証への対応」
	気になる事聞いてみる教育長編 「冬の通学・通学路の除雪状況について」
小谷 康仁	警報発令時の各小・中学校の対応を問う
西川 誠一	町政全般について
	町政について具体的に問う
藤井 昌彦	デマンドバスについて
吉川 康治	持続可能なまち実現に向けた取組について問う ～観光編～
谷口 眞治	物価高騰対策について問う
	子ども施策・教育の充実について問う
田野 公大	グリーン・トランスフォーメーションの取組について
森浦 繁	農業対策について問う

「備えあれば憂いなし」防災拠点施設整備を

総務民生常任委員会

委員長 田野 公大

令和4年度の総務民生常任委員会は各所管課の事務調査をはじめ、公立香住病院事業企業会計決算審査や請願「消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める請願書」の審査をしました。

所管事務調査においては、本年度の事業報告や事業の進捗状況の説明を受け、各種計画に基づいて町民のための施策が適切に実行されているかを確認しました。

また、視察研修に於いては近年全国的に自然災害の激甚化が著しく、その対応のため国を始め全国各地で防災拠点の施設整備が進められていることを受け、本町の町民生活の安全・安心を守るためにはどのような施設が必要なのかの調査目的で、由良川防災ステーションと兵庫県広域防災センターを視察しました。

視察の結果、「防災拠点の必要性」「備蓄の大切さ」「連携体制の構築」「防災教育」「コミュニティの場や遊休施設等の利用」を含めた取り組みの必要性を町へ提言しました。

開催日	委員会	調査事項
4月12日	第1回	調査事項 (1)所管事務調査について
5月19日	第2回	調査事項 (1)所管事務調査について ①ひきこもり支援センター及び「アクティブステーションかみ」の運営活動状況について ②高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況及び次期計画について(地域包括ケアシステム等)
6月9日	第3回	協議事項 (1)公立香住病院事業企業会計決算審査について 調査事項 (2)所管事務調査について
7月15日	第4回	審査事項 (1)令和3年度公立香住病院事業企業会計歳入歳出決算審査について
8月3日	第5回	調査事項 (1)所管事務調査について
9月1日	第6回	調査事項 (1)所管事務調査について
10月28日	第7回	調査事項 (1)由良川防災ステーション(福知山市) (2)兵庫県広域防災センター(三木市)
12月9日	第8回	審査事項 (1)請願第3号 消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める請願書 (2)委員会活動報告のまとめについて
1月27日	第9回	調査事項 (1)香美町地域福祉計画について (2)香美町地域防災計画について (3)香美町公共施設等総合管理計画について
2月17日	第10回	協議事項 (1)委員長辞任について (2)委員長及び副委員長の選任について
3月1日	第11回	協議事項 (1)委員会活動報告のまとめについて



備蓄倉庫視察のようす

委員長 田野 公大
副委員長 東垣 典雄
委員 谷口 眞治
西谷 康治
見塚 高弘
徳田喜代子



香美町議会公聴会
議会が町民に届くには

3月24日(金) 19時～21時

【場所】 香住文化会館 大会議室

【実施背景】 議会の活動が若者に届きにくい状況がある。政治の空白化、選挙への無関心を無くし、持続可能なまちづくりを推進する必要がある。

【実施目的】 議会の活動などを各世代に届けるために、どのような発信や広報が効果的かを知ること、開かれた議会実現に向けた機会とする。また、政治や議会への関心度を上げることで、若い世代と共にまちづくりをしていく機運を高める。

「産業振興、人材の育成と確保に挑む!!」

産業建設文教常任委員会

委員長 藤井 昌彦

当委員会では、前年度から各所管課に1年を通しての重要課題、進捗状況を聴取し、一方、産業振興として、現在、魚食普及に活躍されている「香美町とと活隊」、人材派遣に取り組む「香美町特定地域づくり事業協同組合」との意見交換会を実施し、団体の成立経緯、活動内容、問題点など質疑する中で各課や

団体の活動、課題を共通認識することができました。視察先としては、香美町の将来を担う人材の育成・確保という課題解決に向け「神山まるごと高専」と「淡路市特定地域づくり協同組合」を選定しました。

それらの下支えをしつかり行政が担っていることも同時に学び、町行政が民間と連携して産業振興、人材を育成・確保することが重要であると町当局へ提言しました。

結びに当委員会活動にご協力頂いた関係各位に感謝申し上げます。委員会の活動報告とします。

委員長 藤井 昌彦
副委員長 松岡 大悟
委員 上田 勝幸
小谷 康仁
南垣 誠
西川 誠一
岸本 正人
森浦 繁

開催日	委員会	調査事項
4月19日	第1回	協議事項 (1)所管事務調査について
5月17日	第2回	審査事項 (1)所管事務調査について
6月8日	第3回	審査事項 (1)請願第2号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元をはかるための2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について」 協議事項 (1)水道事業企業会計・下水道事業企業会計決算審査について 調査事項 (1)所管事務調査について
7月12日	第4回	審査事項 (1)令和3年度香美町水道事業企業会計歳入歳出決算審査について (2)令和3年度香美町下水道事業企業会計歳入歳出決算審査について (3)決算審査採決 調査事項 (1)所管事務調査
8月31日	第5回	調査事項 (1)「香美町とと活隊」との懇談会 協議事項 (1)視察研修について
10月27日	第6回	調査事項 (1)「香美町地域づくり事業協同組合」との懇談会
11月1日 11月2日	第7回	調査事項 (1)神山まるごと高専 (2)淡路市特定地域づくり事業協同組合
12月8日	第8回	協議事項 (1)委員会活動報告のまとめについて
3月2日	第9回	審査事項 (1)請願第1号「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書 (2)意見書 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書の提出について 調査事項 (1)委員会活動報告のまとめについて



神山まるごと高専について意見交換



「ワークショップの内容」

テーマ① 「議会に興味はありますか？」

テーマ② 「議会を町民に届けるには。」

テーマ③ 「情報交換〜フリートーク形式〜」

一般社団法人香住青年会議所及び美方青年会議所の皆様をお迎えし、香美町議会公聴会実施いたしました。活発な意見交換や、様々な視点での助言を頂き、非常に充実した会になりました。心より御礼申し上げます。

頂いたご意見は、今後は議会運営に活かすべく、実現に向けての課題精査などを行い、持続可能なより良い議会を目指して、議員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

この人ここにあり

『矢田川走友会 会長 才田 崇仁さん』

◆矢田川走友会

香美町村岡区を拠点に活動をしているランニングクラブの矢田川走友会。名前の由来は兵庫県と鳥取県の県境である赤倉山に源を発し村岡区から香住区まで注ぐ、香美町最大の流域「矢田川」からきています。名前にちなんで大きく長く続くクラブを目指しています。

◆矢田川走友会の歴史と目的

当クラブは2003年に初期メンバー数人で設立して今年で20年目と節目の年となります。メンバーは香美町の方を中心とした20代から70代までと幅の広い層で構成されています。ランニングの良いところは年齢にかかわらず話が合うことが楽しいですね。目的としては速く走りたい方・楽しく走りたい方・アルコールを楽しみたい方など走る思いはそれぞれですが、みんな目的や目標に向かって仕事の合間に日々トレーニングを頑張っています。クラブとしての最大の目標は香美町駅伝競走大会での優勝で現在連覇中です。節目の今年も優勝を飾っていききたいと闘志をみんな燃やしています。

◆行っている取り組み

個人で言えば地元開催のマラソン大会への参加はもちろんです。他県の大会にも積極的に参加して県外のランナーさんとコミュニケーションをとり、刺激を頂きながら走っています。更にはメンバーを中心としたコーチで小学生から中学生までを対象としたジュニアランニングクラブを週一で開催し競技会にも参加しています。

子供たちのひた向きに走る姿は教えている方も力が入りますし、大会等で入賞しようものなら喜びも爆発します。



◆議会に一言



私は香美町で学び育ちました。住んでいる時は気がつきませんでした。帰って来て走り続けていると香美町には他の地域にはない魅力が沢山あることに気づかされます。少し走れば山・海があり、景色の良いロードはもちろんです。トレイルランが出来ると山がいくつもあります。町内にマラソン大会もありこんな町はそうはありません。もともとたくさんの方に香美町のランニング環境の魅力をアピールしていただけるようお願いしたいのと、香美町には小さい町ながら才能豊かな子供たちが沢山います。私たち大人ですが、教えている子供たちが、もっと安全安心に自由に走れる陸上トラックのような場所が気軽に、天候を気にせず練習できる場所があれば更に活躍出来る子供たちも出てきてくれると思います。

そんな子供たちが楽しんで人生最後まで香美町で走り続けてもらえるような政策を期待しています。



編集後記

3月13日からマスク着用が「個人の判断」とされ、いよいよコロナ禍の生活が終焉を迎えようとしています。マスクをつけることがあまりにも日常化していて、久しぶりに見るマスクなしの顔が新鮮に感じられてしまします。WBCで世界一となった日本チームの活躍もアフターコロナへ向けてのスタートを華々しく飾ってくれました。まだまだ油断は禁物ですが、子供たちや皆様の笑顔あふれる新年度を願っています。

広報公聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 吉川 康治 |
| 副委員長 | 南垣 誠 |
| 委員 | 田野 公大 |
| | 西谷 高弘 |
| | 松岡 大悟 |
| | 見塚 修 |
| | 森浦 繁 |